

## 平成 27 年度千葉県指定管理鳥獣捕獲等事業（イノシシ）における捕獲結果

### （1）捕獲の実施状況

#### ①委託先

（一社）千葉県猟友会

#### ②委託期間

平成 28 年 1 月 12 日～平成 28 年 3 月 25 日

#### ③捕獲区域

《イノシシ》

- 成田地域（成田市の一部、多古町の一部、芝山町の一部、香取市の一部）
- 長生地域（茂原市の一部、長柄町、長南町の一部）

#### ④わな設置期間

- 全地域においてわなの稼働日数は概ね 30 日程度。

表 1 各実施地域における捕獲実施期間

地域	捕獲実施期間（くくりわな）	捕獲実施期間（箱わな）
成田	平成 28 年 2 月 10 日～3 月 12 日	平成 28 年 2 月 10 日～3 月 23 日
長生	平成 28 年 2 月 2 日～3 月 4 日	平成 28 年 2 月 2 日～3 月 4 日

#### ⑤捕獲方法

くくりわな及び箱わな。

### （2）捕獲の実施結果

#### ①わな設置数

- 成田地域のわな設置箇所数は、くくりわなが 36 地点、箱わなが 7 地点。  
のべ設置基数は、くくりわなが 1529 基、箱わなが 229 基。
- 長生地域のわな設置箇所数は、くくりわな 40 地点、箱わなが 10 地点。  
のべ設置基数は、くくりわなが 1605 基、箱わなが 310 基。

表2 各実施地域における設置地点あたりの設置基数

地域	くくりわな		箱わな（1基／地点）
	1基／地点	2基以上／地点	
成田	29 地点	7 地点	7 地点
	のべ基数：1,529 基		のべ基数：229 基
長生	4 地点	36 地点	10 地点
	のべ基数：1,605 基		のべ基数：310 基

## ②わな設置場所

- 鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域（銃）を中心とした地域に設置した。
- 箱わなは主に農地周辺に設置した。一方で、くくりわなは主に山林内に設置した。

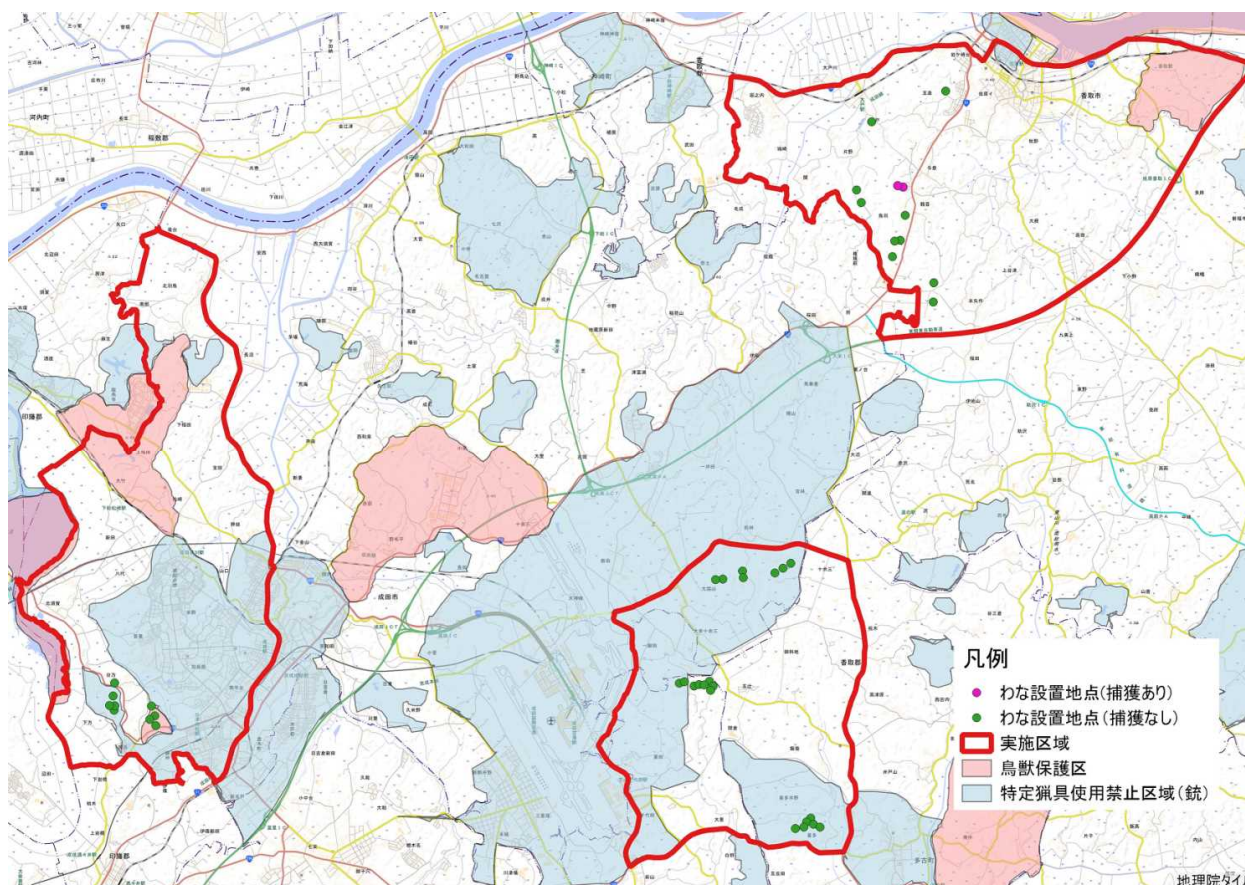


図1 成田地域におけるわな設置地点

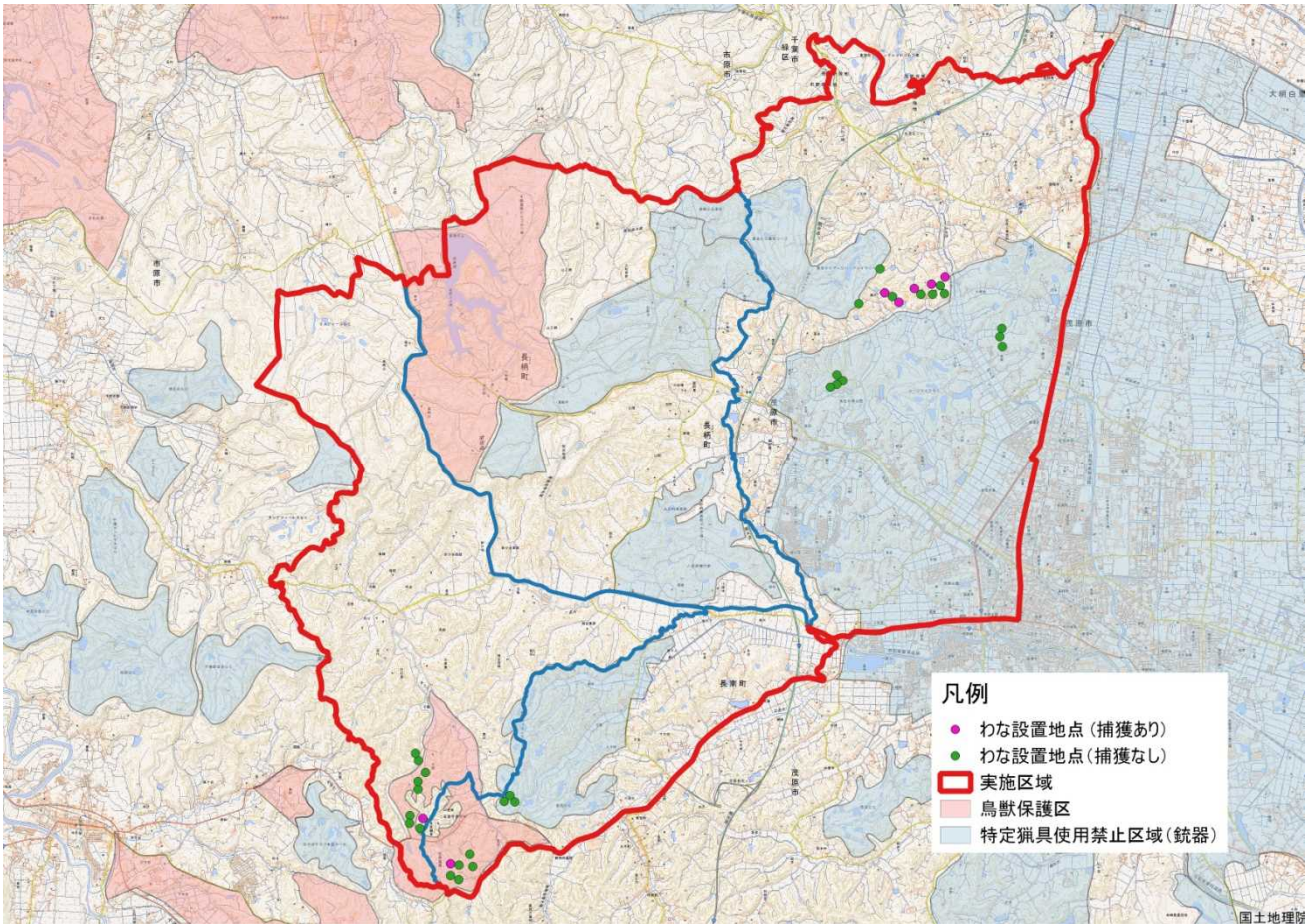


図2 長生地域におけるわな設置地点

### ③捕獲数

- 成田地域では3頭、長生地域では9頭のイノシシが、それぞれ捕獲された。
- 成田・長生地域ともに、箱わなによる捕獲はなかった。

表3 捕獲数の内訳

地域	市町村	くくりわな	箱わな	計
成田	成田市	0	0	0
	多古町	0	0	0
	芝山町	0	0	0
	香取市	3	0	3
長生	茂原市	7	0	7
	長柄町	1	0	1
	長南町	1	0	1
計		12	0	12

#### ④捕獲個体

- 全てくくりわなでの捕獲であったため、箱わな捕獲に見られる幼獣への偏りが見られなかった。
- 捕獲数は少ないものの、成獣メスが高い割合で捕獲されたことから、分布拡大抑制や密度低減へは効果的だと考えられる。

表4 捕獲個体の内訳

地域	成獣		幼獣		計 (成獣メスの割合)
	オス	メス	オス	メス	
成田	2	1	0	0	3 (33.3%)
長生	3	6	0	0	9 (66.7%)
計	8	8	0	0	16 (50%)

※便宜的に 25kg 以上の個体を成獣とした。

#### ⑤捕獲効率

- 農地及び山林の両方にくくりわなを設置した長生地域では、山林での捕獲効率が 0.0038 頭(日基)であったのに対し、農地での捕獲効率の方が高く 0.009(日基)であった。  
⇒山林よりも農地周辺の方が、イノシシの密度が高い可能性がある。
- イノシシの山林における捕獲効率を地域間で比較すると、成田地域が 0.0020 頭(日基)であったのに対し、長生地域は 0.0038 頭(日基)と、長生地域の方が高かった。全体でも成田地域が 0.0020 頭(日基)であったのに対し、長生地域は 0.0056 頭(日基)と、長生地域の方が高かった。  
⇒生息密度が影響している可能性が高い。

表5 各実施地域におけるくくりわなによる捕獲数及び捕獲効率(設置環境別)

地域	のべ基数			捕獲数			捕獲効率(基数あたり)		
	農地	山林	計	農地	山林	計	農地	山林	計
成田	-	1,529	1,529	-	3	3	-	0.0020	0.0020
長生	558	1,047	1,605	5	4	9	0.0090	0.0038	0.0056

※狩猟における捕獲効率は成田地域：0.0009、長生地域：0.013

表6 成田・長生地域における箱わなによる捕獲数及び捕獲効率(設置環境別)

地域	のべ基数			捕獲数			捕獲効率(基数あたり)		
	農地	山林	計	農地	山林	計	農地	山林	計
成田	32	197	229	0	0	0	0	0	0
長生	217	93	310	0	0	0	0	0	0

※狩猟による捕獲効率は成田地域：－、長生地域：0.030

### ⑥捕獲までに要した日数及びわな設置継続日数

●捕獲数は限られるものの、多くの地点で設置日から捕獲日まで2週間未満であった。

⇒くくりわなでは、一定期間以上捕獲がない場合は移設を検討した方がよい。一方、箱わなは誘引に一定期間を要するため、どの程度継続して設置するのが良いかを判断するには、より長期間にわたって捕獲を実施した上で検証する必要がある。

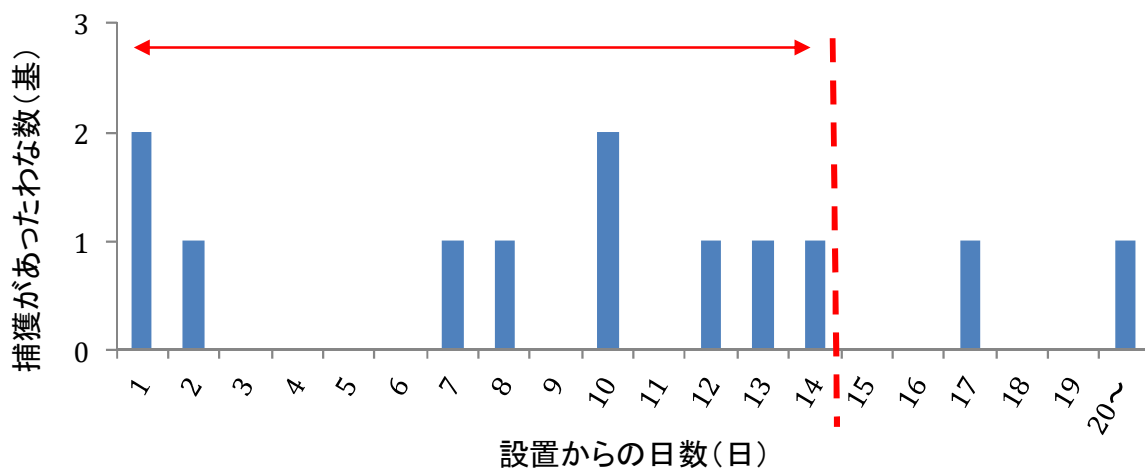


図7 捕獲までに要した日数（設置日～捕獲日）

### ⑦くくりわなの空ハジキ数

- 成田地域では、イノシシ（対象種）による空ハジキ数は少なかったが、タヌキを含む対象種以外の空ハジキが多数発生した。
- 長生地域ではイノシシ（対象種）による空ハジキが多かった。また、種不明の空ハジキが多かったが、成田地域よりもイノシシの生息密度が高いことから、イノシシによる場合が多いと考えられる。
- 空ハジキは捕獲効率に大きく影響することから、空ハジキ対策は重要課題である。地域により対象種による空ハジキ、対象種外による空ハジキがそれぞれ多数発生していることから、状況に合った空ハジキ対策を検討する必要がある。

表7 空ハジキ数（くくりわな）

地域	空ハジキ数 (対象種)	空ハジキ数 (種不明、対象種外)
成田	1	5
長生	15	14